

総務常任委員会報告



委員・防災アドバイザーは何名選任し、会議等を何回開く予定か。

答

環境審議会委員・地下水保全審議会委員は、2名か3名で、

会議等の回数は年2・

3回程度を市民環境課

の方は予定していると聞いています。防災アドバイザーについては1名か2名で、必要に応じて防災会議関係の参加をお願いするとともに、砂防地滑り辺りの

県の今後の復旧計画に対して適正化どうか等を個別にお願いしたりしますので、年4・5回程度を考えております。

議案第13号 阿蘇市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

問

環境審議会委員・地下水保全審議会

このような審議を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第18号 阿蘇市公の施設における指定管理者の手続きに関する条例の一部改正について

問

今までに公の指定管理者を公募して応募がなかったという施設があるのか。

答

今まではあっておりません。

問

今までにないのであれば、こういう条例は必要ないのではないか。

答

現在の条例は、公募を行って候補者となるべく団体がいなかった時は、市の方で指定管理者の方を選定できるという事で、そのことは当然残りますけど、その他に、指定管理者の公募者が破産

とか非常に社会的批判を受ける団体とか、そういう分については非常に相応しくないもので、直接公募をしないで市の方が選定をするという事になってまいります。特に指定管理者を取り消した時に公募等始めると、何ヶ月か空白期間が出てくるので、そういう分については公募によらずにスムーズな運営を継続していくために、市の方が選定できるというものでございます。公募において選定をするというのが一番の基本であります。

問

放置自転車に対する条例の存在、また周知の方法は。

答

こういう条例があることを、広く市民の方にまだ周知出来ないかと思っておりますので、その点についてはご指摘のとおり周知に努めたいと思います。

意見

指定区域だけに立て看板を置いただけでは、生ぬるいのではないかと思う。自転車を使用するのは、一般の方よりも学生さんの方が多いと思うので、学校辺りにも周知徹底をお願いしては。

答

4月・5月辺りに放置自転車が増える傾向がございますので、そういった事も含め学校辺りにも通知したいと思えます。

議案第20号 阿蘇市放置自転車防止に関する条例の一部改正について

このような審議を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第22号 阿蘇駅前噴水広場条例の制定について

問

災害時の一時避難所としての防災機能を兼ね備えた空間を設置するとあるが、防災というと、昼ばかりではなく当然夜の可能性もあるので緊急な場合の発電施設、そういうものの考えを聞かせてもらいたい。

答

電源設備はありますが、停電時は対応出来ません。将来的に必要であれば備えるという事で考えております。なお、照明灯につきましては、ソーラーを使っております。貯水槽については100トン規模の耐震性の貯水タンクを地下に埋設しております。生活用水としての使い道でも、当然、防火用としての使用もできます。また、トイレですが、通常時はベンチ式のトイレ

レをつけており、非常時になればそこにテントを設置し臨時的なトイレとして使用できる設備も設置しております。

意見 災害時に電源がないところが果たして避難所といえるのか。自家発電を兼ねた電源の確保。照明にはいいけど、ソーラーでは通常の電源として使えないと思うので、今後、避難所として考えるならばその辺りを考えて行くべきではないか。

答 防災機能を一部担いますが、なかなか100%担う事は難しいと思います。今後は道の駅あたりが防災拠点となっていくという考えを国土交通省も持っていますので、緊急時を含めて配備を考えて行かないといけないかなと考えております。

問 噴水の向こう側に7つの看板が見えるが、今後どのように地

権者と解決していくのか。

答 公有地として取得、国の補助事業でもあります。当然のことですが、適正な不動産価格でしか交渉が出来るなかったという理由があります。今後も地権者の方に再度お願いするとかの解決の努力は図っていくかと思っております。

問 阿蘇という形の中で、なぜ噴水になったのか。

答 阿蘇のイメージでは木々の緑・火山・水を表現したいという事と、あのあたりは水を演出するところがありません。また、子ども達に水に親しんで欲しいというアイデアです。駅から見ると、昼間は、阿蘇の五岳が見え、緑も見えそれと水。更には日暮れとともにライトアップ等の仕掛けをすることで春から夏、秋にかけておいでになるお客さんに楽し

んでいたかどうかということとしているところであります。

このような審議を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第38号 平成25年度阿蘇市一般会計予算について

情報課所管分

問 広報広聴費のお知らせ端末配信グループ化手数料について詳しく説明を求める。

答 グループ配信については、今、モデル的に民生委員さんが行っております。約80人いらっしゃるんですが、民生委員というグループ化をして、会議の開催のお知らせ等を配信しています。学校関係、消防団、各課などお知らせしようと思えばたくさんグループ

化が出来ます。小さいところ全てとはいきませんが、必要な所にグループ化をして、これまで通知を出していた分の郵送料や紙代、人件費を軽減していくというものです。さらに、双方向システムで、会議の出席の有無を画面にタッチし回答することが出来ます。色んな面で節減出来ますので、そういったことに取り組もうというものです。

総務課所管分

問 非常備消防費のコミュニティ事業助成金は、よその地区が要望した場合はどうするのか。また、去年、災害があった際の小型動力ポンプや積載車の修理はどうなっているのか。

答 コミュニティ助成の要望がありましたら、その都度、必要性

を協議した上で、必要ということであれば、市の方で予算組みをしていきたいと思っております。消防の設備車両等については、全部で11台被害にあっております。4台は修繕が出来ますが、7台は来ていますが、7台は買い替えをしており、3月末に納車予定です。ポンプにつきましては、1台被害にあっておりますが、例年購入しております5台のうち1台をあて、配備済みです。

問 災害対策費が73万円増額の要因は。

答 主なものは、九州北部豪雨災害記録作成委託料55万円です。災害の記録をちゃんと残して、今後の災害教育あたりに活用していくという事で予算計上しています。

税務課所管分

問 家屋全棟調査業務委託料1724万1

000円とあるが、主な目的と、どういう成果があがっているのか。

答 家屋全棟調査業務については、家屋の現況と課税台帳を一致させることにより、公平且つ公正な課税業務を確立し、調査を通じて課税根拠が明確化され、納税者への説明責任が全うされると同時に、税務行政の信頼確保に寄与することを目的としています。成果については、現在調査中のため、実績を報告できる状況にありませんが、精査をしてきちんと報告させていただきます。

このような審議を経た結果、本案は全員異議なく可決すべきものと決定いたしました。

文教厚生常任委員会報告



姫小学校の統合による閉校、それに伴い開校する小学校の校名変更に伴い条例を一部改正するものであります。

意見 統廃合した後の校舎・体育館の活用については、しっかりと協議をしていただきたい。

うな形にはなりません。

問 土曜日学校の試みとして、経費に反映されるのはどの程度か。また、心の相談員等、先生の増員は出来るのか。

答 費用面について、先生方の勤務は、時間外でなく振替になりますが、スクールバスの運行、光熱費等で若干発生すると思われます。また、先生の増員については、県で配置基準が決まっていますので、

議案第38号 平成25年度阿蘇市一般会計予算について

教育課所管分

問 生活保護費が削減されるが、児童・生徒の要・準要保護就学援助費への影響は。

答 現時点での認定要件・算定基準でいくと、保護費の減額に関しましては影響ないよ

議案第36号 阿蘇市立小・中学校設置条例の一部改正について

補足説明

中通小学校の先行統合による閉校、碧水小学校及び乙

れぞれでの進路指導の在り方について、お互いに計画や取り組み状況、具体的な内容等を持ちより、より良い進路指導のあり方、キャリア教育の進め方等を検討しております。体育館については、昭和50年代に建築された施設なので、優先順位を決めて、人命にかかわるところから優先して改修を行っております。

高齢者支援課所管分

の活動内容と登録者数は。 **答** 敬老会事業費の確認については、実績報告書を出していただく形をとっております。また、シルバー人材センターの活動内容は、高齢者の就労支援であり、会員数は23年度末で29名です。

市民環境課所管分

問 グループホームで、リコール対象だった加湿器による火災が発生したが、そういった情報も消費生活センターの方でも情報収集し、啓発していく事も必要ではないか。

答 確かに消費生活における様々な相談、それ以外にも食の問題、生活の安全の問題というものにも対応すべきものと考えます。

問 廃棄物減量化についての実績は。

答 レジ袋削減に向けた取組も、6事業所

と協定を結ぶ事が出来ましたし、マイバック推進運動も継続しており、ごみの排出量としては少しずつではありますが、減少してきております。ただ、水分の問題が解消されておらず、今後の問題と考えます。

意見

RDFにおいて燃料ペレットを作るのに重油を使うという矛盾がある以上、少しでも生ごみの分別、循環型社会の構築へ向けた取組をお願いしたい。

以上のような審議を経た結果、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第42号 平成25年度阿蘇市介護保険事業特別会計予算について

問

社会福祉協議会への地域包括支援センター運営業務委託に関

してだが、現嘱託職員の方々が辞められると聞いている。それでスムーズな移行が出来るのか。

答 （課長） 現包括支援センターの嘱託職員の方が全て社会福祉協議会の方へは移らないという状況です。で、危惧しているところではあります。

答 （部長） 嘱託職

員の方々が社協に移らない事については、多少心配しておりますが、社協が責任を持つてやれるという事で信頼しておりますし、委託側としての責任という面からも、バックアップしてまいります。

問 議案に係るはなが、社協の事務局長は代わるのか。

答 理事会におきまして、社協からの要望もあり、2年という期限付きで再任されることになっています。

以上のような審議を経た結果、本案は可決すべきものと決定いたしました。

議案第50号 平成25年度阿蘇市国民健康保険阿蘇中央病院事業会計予算について

問 収益増の見込みに対し、経費が増えない根拠は。

答 収益増に関しましては、努力目標であり、経費削減については現段階でもあらゆる手段を講じて削減に努めております。

問 病院建設に伴う新しい医療機器の購入だが、次々に新しいものが出来てくる現状で、病院としてどう考えているのか。

答 承認いただいた予算の範囲内で、調達の努力をするつもりであります。財政の方とも協議をして調整をしておりますが、競争入札の段階で多少なりとも経費削減が出来るのではないかと思います。

問 看護師の確保についてはどういう状況か。

答 ホテル日航熊本で開催するガイダンス、保健科学大学の看護科の就職説明会、看護福祉大学での就職説明会等を昨年行っており、今回4月1日付けで10名採用。今後同様に説明会等を開催し、段階的に採用していくつもりであります。

問 看護師の確保以前に、現状で辞められる方が多数おられるという話も聞いているが、実態は。

答 一身上の都合という事で辞められる

もので、中身については分かりかねますが、そんなに多くはないと思っております。

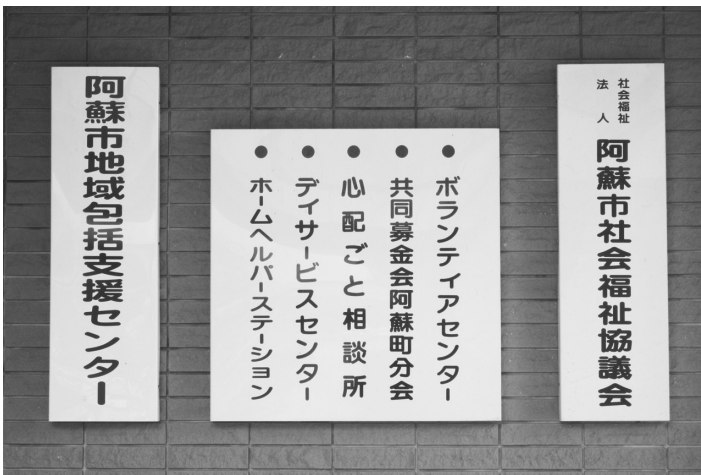
意見 もちろん看護師の確保はしなければならぬが、ベテランの方が必要であることは確か。ベテランが辞めていかなければならないような体制づくりも必要ではないかと思う。

意見 医薬分業は分か

るが、高齢者も多いことからその辺を考慮していただきたい。

答 今委員がおっしゃるような取り組みはしたいと思えます。

以上のような審議を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。



新病院建設現場